

インターチェンジ草地ススキ群落刈取・運搬・搬出作業実施要領

1 趣 旨

かつて草の需要があった時代には、現在よりススキの生育密度は低く、多様な草花の生育する草原が季節とともにみられた。しかし、昭和30年代以降、人為が少なくなり、ススキが繁茂してきて現在はススキの優占度が高くなっている。

優占しているススキを刈り取って草原外に搬出することにより、ススキの勢力を弱め多様な草本類が混生する草原への再生を図ることを目的にモデル地区として実験的にススキの刈取りを行う。

2 主 催

霧ヶ峰自然環境保全協議会

霧ヶ峰草原再生協議会

3 参集範囲

下桑原牧野農業協同組合、主催者構成団体及び一般参加者

4 参加人数（目安）

60人

5 傷害保険の加入

原則として、構成団体保険未加入者は霧ヶ峰草原再生協議会が契約・支出する傷害保険に加入する。

6 ススキ群落刈取り作業

(1) 日 時 令和7年8月20日（水）午前9時から正午まで（予定）（予備日8月22日）
延期の場合は当日午前8時までに各団体代表者及び個人へ連絡する。

（小雨決行）

(2) 集合場所 強清水園地入口付近

(3) 刈取範囲 インターチェンジからビーナスライン東側へ幅50m、延長140mの範囲で
現地にポールを設置済

(4) 服装・持ち物

服 装 汚れてもよい服装とし、靴も長靴・トレッキングシューズ等足元が悪いことを想定した靴とする。

持 ち 物 刈払機、草刈り鎌、熊手、手箕等作業に必要なもの。

道具については、ある程度主催者で用意する。手袋・お茶も主催者で用意する。刈払機持参者を予め把握し、燃料・替刃等の準備をする。刈払機は経験者のみの扱いとする。

(5) 作業手順

① ススキを刈払機で刈る班、刈ったススキを集めて運搬する班に分かれる。

② ススキを刈払機で刈る班は、ゴーグルを着用し、十分注意しながら他の植物を極力刈取らないようにススキの株を刈取る。機械の刈取りが困難な箇所は鎌で刈取る。

③ 刈ったススキを集めて運搬する班は刈取り班から十分距離を置き、ススキを収集して場外（電気柵の外）へ運搬する。

- ④ 場外からススキを搬出し、パッカー車に積み込む。道路の反対側に搬出する場合は、交通誘導員の指示に従って横断する。
- ⑤ パッカー車で搬出したススキは堆肥化施設に持ち込み、堆肥化する。

7 留意事項

- ・休憩を適宜取り、給水を行うなど熱中症に注意する。また、足元が悪い場所もあるため、ケガに十分注意して作業を行う。
- ・万が一病気やケガの発症があった場合は、協議会事務局員（諏訪地域振興局環境課職員）に申し出る。